

モニターレポート(6月報告)

【報告内容①】

暑い日でも川の風が涼しかったです。今年は節電なので、パラソル等をもって行けばエコスポットだなと思いました。

〈事務所からのコメント〉

川の風が涼しいので、パラソルを持って行けば、エコスポットだというご感想、全くそのとおりですね。阿賀野川は水が多いので、阿賀野川の様子を見ながら、エコスポットとして楽しみたいところです。

【報告内容②】

・横雲橋の歩道専用橋工事は、残り1ヶ月以上を要するようで、河川敷にもロープが張られ、近づくことは不可能となっていました。

・フラワーライン自転車道工事は更に進み、広範囲で土盛り矢板が敷かれ、工事車両、重機が入っていて、車を入れて移動することが不可能な状態でした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の河川工事についてのお話がありました。

阿賀野川左岸の工事は、河川工事、フラワーラインの工事、横雲橋歩道橋の補修工事と、複数の工事が同時に進行しているところです。工事期間中は、一部で立ち入り等を規制している箇所もございますが、ご協力をお願いいたします。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

河川内の土砂除去について

河川に重機が入って、溜まった土砂を取り除いています。取っても取っても減り目が分かりません。量的にどの程度取るのでしょうか。トラックで何台分とか、県庁の何杯分とか。採取量は予め計算できるのでしょうか。また、土砂は有価物として販売できるのでしょうか。

〈事務所からのコメント〉

河川内の土砂除去についてお話がありました。

河川内に土砂が溜まると、洪水を安全に流すことができなくなるため、計画的に除去していく必要があります。現在は、主として

- ①盛土工事がある場合、その材料として河川内の土砂を利用。
- ②コンクリートの材料として使える砂や砂利は、砂利採取業者に採取を許可。

の2つの方法で土砂を除去しています。

①は、工事の進捗状況等によって量が変わりますが、②は、あらかじめ許可できる量を年間最大10万 m^3 と決めています。大型ダンプトラックで約18,000台の量になります。

【報告内容④】

この1年間モニターとしてささやかではありますが、活動をしてまいりました。期待に添えたかどうかは疑問ですが、モニター応募時の気持ちは今も変わりません。いや、阿賀野川を愛する気持ちは以前からであり、今後も変わることなく続くでしょう。1年間ありがとうございました。

〈事務所からのコメント〉

1年間河川愛護モニターとして活動いただきまして大変ありがとうございました。心から感謝いたします。早いもので、1年前にモニターをお願いしてから、もう任期終了となってしまいましたが、この間阿賀野川に関しまして、数々の情報、意見等をいただきました。事務所としましては、みなさまからの貴重な情報、意見を今後の阿賀野川の改修・管理等に十分生かしていきたいと思っています。また、モニターは終了となりますが、今後とも阿賀野川への関心を持っていただき、機会があれば事務所へも情報をいただければ幸いと存じます。

※複数のモニター報告を要約してあります。